

就任の ご挨拶

社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
あべ かずひこ
会長 阿部 一彦



この度、日本身体障害者団体連合会会長に再任されました阿部一彦です。先日のぎふ清流大会では、全国より会員の皆さまには、多数ご参集いただき盛会のうちに閉会することができました。心よりお礼申し上げますとともに、満場の皆様からの期待に応えられるよう身を引きしめ取り組む所存です。

さて、日身連は、設立当初から日本の障害者団体を代表する存在として、障害者福祉の向上と障害者の社会参加促進のため、加盟団体の皆さまと連携協力し、活動を続けてまいりました。そうした活動が、障害者を取り巻く社会環境を改善する原動力になったことは言うまでもありません。

さらに、障害者権利条約の批准により障害者施策にかかる検討の場も、障害当事者が参加したなかで協議が行える仕組みが形づけられました。これこそ、障害者権利条約の精神でもある”私たち抜きに、私たちのことを決めないで”を具現化したものと評価しています。

一方、障害に対する無知、無理解や合理的配慮の欠如は、障害者差別解消法施行から一年余りが経ちましたが、依然、社会の中にあります。私たちは、こうした課題にしっかりと向き合い、地域社会を巻き込んで、課題解消にむけた活動を積極的に起こしていかなければなりません。

障害の有無によって分け隔てられず、相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に向けて取り組みたいと思います。そして、日身連の仲間でもよかったと思っただけのよう、日身連会長として鋭意努力してまいる所存です。

今後とも、日身連に対し特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とますますのご発展を心より祈念申し上げます。

5月30日(火)～31日(水)の2日間、岐阜県岐阜市において、日本身体障害者福祉大会ぎふ清流大会が開催され、約2500人が参加しました。

大会は、30日、岐阜都ホテルを会場に、日身連第1回定時評議員会が幕を明けました。評議員会においては、日身連の新役員が選任されました(新役員名簿は4面に掲載)。午後からは政策協議として、講演とシンポジウムが

第62回ぎふ清流大会に2500人 新役員体制決まる 会長に阿部氏再任



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デアダックビル4階
TEL03-3565-3399(代)
FAX03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

行われました(詳細次号)。その後開催された臨時理事会において、会長等の選任が行われました。

2日目の31日には、第62回日本身体障害者福祉大会ぎふ清流大会が岐阜メモリアルセンター・で愛ドームで盛大に開催され、古田肇岐阜県知事(代理)や細江茂光岐阜市長から歓迎のあいさつをいただいたほか、塩崎恭久厚生労働大臣から祝辞をいただきました。大会表彰では永らく団体活動に貢献のあった全国55名の会員の皆様が受賞されています。また議事においては、大会宣言ならびに大会決議が、満場の拍手で採択されました(被表彰者名簿・大会スローガン・大会宣言・大会決議は3面に掲載)。最後に、今大会で退任される森祐司日身連常務理事兼事務局長の長年にわたる功績に



対し、阿部会長から感謝状の贈呈が行われ、固い握手が交わされました。なお、次回大会は、平成30年6月中旬に、群馬県高崎市を中心に開催されます。